

## 女性の生活習慣と健康に関する疫学研究 (JNHS) フォローアップ調査の進捗報告

群馬大学医学部保健学科医療基礎学

林 邦彦

### 【略歴】

1980年 東京大学医学部保健学科卒業  
1980年 山之内製薬株式会社臨床統計部  
1990年 保健学博士 (東京大学, 疫学)  
1990年 ハーバード大学公衆衛生学客員研究員

1996年 群馬大学医学部保健学科医療基礎学助教授  
1999年 日本ナースヘルス群馬パイロット研究開始  
2001年 群馬大学医学部保健学科医療基礎学教授  
2001年 日本ナースヘルス研究 (JNHS) 開始

「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究 (JNHS: 日本ナースヘルス研究)」は、25歳以上の女性の看護職有資格者を対象にした前向きコホート研究である。2001年11月～2007年3月に実施した郵送法によるベースライン調査では、①属性・就業状況 (婚姻, 出生地, 資格, 学歴, 勤務場所, 職種, 交代性勤務歴), ②生活習慣 (喫煙歴, 飲酒, 睡眠, 運動・身体活動, 食事), ③身体状況 (身長, 体重, 腹囲長, 臀囲長, 血圧値, 血清コレステロール値, 空腹時血糖値, 出生時体重), ④生殖機能関連事象 (初経年齢, 不妊歴, 妊娠歴, 出産歴, 避妊法, 閉経, 卵巣・子宮摘出既往, 月経時痛, 女性ホルモン剤利用歴), ⑤保健習慣 (がん検診歴, 常用薬, ビタミン剤利用状況), ⑥疾患既往歴, ⑦家族歴の設問からなる自記式調査票について、全国47都道府県49,927名の女性から回答を得た。現在、群馬大学 JNHS データセンターにてデータ処理を行っている。

ベースライン調査回答者のうち、10年間のフォローアップ調査への参加に書面で同意し、自宅住所と氏名を登録した約17,000名には、1年ごとのJNHSニュースレターおよび2年ごとのフォローアップ調査票を郵送している。フォローアップ調査の未回答者には3回催促状を送り、また、宛名不明となった例では対象者の同意に基づき住民票照会によって新住所へ郵送するなど、JNHS事務局では追跡率の維持に努めている。

本コホート研究の主たる評価項目は、各種疾患の発生と死亡である。乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、大腸癌、胃癌、肺癌、肝癌、狭心症、くも膜下出血、脳梗塞、脳出血、肺梗塞、静脈血栓症、足の動脈血栓症、高血圧症、高コレステロール血症、糖尿病、子宮内膜症、子宮筋腫、良性乳腺腫では、自己申告による疾病発生報告の信頼性について、本人および医療機関への詳細調査をJNHS疾病評価委員会が行っている。また、食事や身体活動に関する生活習慣調査票のバリデーション研究も、群馬県内の対象者を中心に行われている。現在までの、フォローアップ調査の進捗状況について、その詳細を報告する。